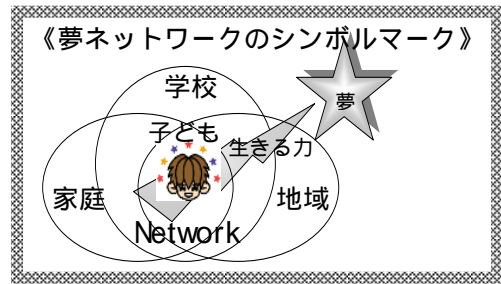


平成21年度学校経営計画の概要

1 目指す学校

チーム八小プラン 夢ネットワーク経営構想
に基き、子どもの夢・教育の夢の実現を目指す
学校づくりを行う。



(1) 学校経営の基本理念

「夢 + 協働 + 前進 = 子どもの変容・確かな成果」

新学習指導要領の趣旨を実現する学校づくりをする。

目指す子どもの姿を明確にし共有して、子どもの変容の姿や確かな成果の形で追求・実証する。

全教職員が協働して目標の実現を目指す組織体制『チーム八小』を創る。

常に自己研鑽に励み、自らの指導力を高めていく教職員を育てる。

自己の強みを発揮し、学校経営に参画する教職員を育てる。

子どもを慈しみ、学校を愛し、教育公務員として自覚し、保護者・地域に信頼される教職員を育てる。

責任感・使命感をもって教育に邁進し、「迅速・的確・誠実」を常に心がける教職員を育てる。

保護者・地域との連携・協働を推進し、地域とともに地域に生きる学校『チーム八小』を創る。

(2) 目指す学校像

何よりも子どもと授業を大切に作る学校（ねらいを明確にし子どもの意欲と身に付く力を高める授業実践）

教職員が学び合い高め合い協働する学校（自己の強みを磨き経営参画し、協働して学校力を高める教職員）

地域に生きる子どもを地域とともに育てる学校（積極的に発信受信し、保護者・地域と連携協働体制づくり）

美しく誇りのもてる学校（子どもも教職員も「わたしの学校」と誇れる学校に。清潔で美しく安全安心に）

目標の実現を目指して果敢にチャレンジし前進し続ける学校（夢は生きる力の原動力。チャレンジこそ前進）

課題解決に、組織がチームとして一体となって取り組む学校（全教職員の強みを結束してこそ真の組織力）

2 教育活動の目標とその方策

(1) 確かな学び

授業改善推進プランに基き、習得・活用・探究型の授業改善を行う。算数少人数指導を充実させ、個別対応を推進し、基礎基本を徹底する。パワーアップOJT研修を充実・発展させ、年間計画に基き互いに学び合う。校内研究を充実させ、評価規準に基き表現力・コミュニケーション能力を向上させる。国語・各教科における言語活動、全校の読書活動を推進する。地域資源・『地域ふれあい資料館』を活用した教育活動を推進する。音読カード・読書カード等を活用して、家庭と連携して子どもの学習習慣づくりを進める。

(2) やさしいかわり

地域青少年と連携した挨拶運動、地域老人会と連携した『地域ふれあい活動』、飼育栽培活動・自然体験の活動の推進・充実を通して人権教育を推進する。ルールを守る指導・いじめを許さない指導を徹底する。特別支援教育を一層充実し、ケース会議等を通して支援を必要とする児童に確実に対応する。特別支援教育コーディネーター・特別支援指導員を中心に、教育相談体制を整備し保護者支援を行う。安全点検と迅速改善、『早期発見・早期対応・適切な初期対応』を徹底し、保護者・地域と連携して児童の安全を確保する。

(3) 心と体の健康

家庭と連携して基本的な生活習慣づくりの取り組みを全校で行う。地域体育会と連携したトリム活動の充実と元気な外遊びを推進する。子どものよさを誉めて伸ばす指導を徹底する。

(4) 連携・協働の学校づくり

学校支援者と連携・協働した教育活動を推進する。（少人数指導・外国語活動・図書・ガーデニング等）担当職務を生かして経営参画し、報告・連絡・相談の徹底と起案から意志決定まで迅速に遂行する。学校評価・学校関係者評価を生かし学校改善を図る。保護者が学級や学年の活動に一層かかわる体制を推進する。

(5) 生活合言葉『八小の子どもは、ていねいな言葉で話します』

友だちへの「くん・さん」付け、入室時の挨拶の継続。発表の仕方等の話型を全校で統一する取り組み。

研究校指定の概要

平成21年度 立川市教育委員会外国語活動研究指定

〔研究主題〕『自分に自信をもち、楽しみながら人とかかわることのできる児童の育成』
外国語を使ったコミュニケーション活動を通してー

〔主題設定の理由等〕

平成23年度の新学習指導要領完全実施を踏まえ、本校が平成18年度より立川市教育委員会外国語活動推進校として培った研究成果を基に、さらに評価規準の作成や評価の在り方等の課題解決を目指して本年度も外国語活動の研究に取り組み、児童の表現力・コミュニケーション能力を育成するために、本研究主題を設定した。